

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	2	観光費		根拠計画				産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	107万人		-
観光消費額(年間)	466億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		7,760	4,867	13,460		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(入湯税、広告事業雑入 等)	7,409	4,867	12,478		
一般財源		351	0	982		
個票枝番	主な事業内容					
	観光パンフレット等の作成	3,500	3,267	9,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
12,780	11,960	11,960	△ 1,500	
11,553	11,222	11,222	△ 1,256	
1,227	738	738	△ 244	
査定額	説明			
8,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェント訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、観光客のニーズを捉えた新デザインのポスターの作成、またマイカー利用の観光客が増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。
評価等	・新型コロナウイルスの影響により、令和2年1月～令和2年12月の観光客入込者数は市町村合併以降最低となる230万人に減少した。 ・感染状況が少し落ち着いた秋には、国が実施するGoToキャンペーン等の効果により一時的に入込は増加したが、再び感染状況が悪化した冬期には減少傾向となった。 ・新型コロナウイルスの影響により人の流れが止まることは不可避であり、その間にどう誘客宣伝を行っていくか、戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するための国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度予算)

29_観光課_2

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	6,620	1,400	6,720			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	6,620	1,400	6,720			
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	1,400	2,000		
	案内本部の運営	4,060	0	4,160		
	交通量調査	560	0	560		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		6,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
7,049	6,670	6,670	△ 50	
7,049	6,670	6,670	△ 50	
査定額	説明			
2,000				
4,110				
560				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の高山祭は春秋とも中止となった。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては新型コロナウイルスの影響により、神事を除くすべての行事が中止となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 今後しばらくは外国人観光客の需要が見込めない想定されるが、ポストコロナを見据えた外国人観光客に対するコミュニケーションを行っていく。 状況に応じた安全、安心な事業展開と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた戦略的な誘客活動をすすめる。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して高山祭が見学できる観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

29_観光課_2

62110

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン(体験プラン)の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	107万人		-
観光消費額(年間)	466億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,000	14,915	15,000			
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)						
	その他(入湯税)	16,000	14,915	15,000			
一般財源			0	0			
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光誘致推進協議会負担金	16,000	14,915	15,000			
	高山祭屋台の特別曳き揃え実行委員会負担金						

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,000	14,000	14,000	△ 1,000	
14,000	14,000	14,000	△ 1,000	
0	0	0		
査定額	説明			
14,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ・<主な取り組み> ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・岐阜県や関係団体等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行に特化したプログラム冊子の作成、ホームページ等による情報発信 ・飛騨高山観光ゼミの共催 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・JR高山本線運転再開感謝イベントの実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって様々な媒体を活用した情報発信等により、例年と比べれば減少したものの、観光客入込者数が230万人となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・コロナ禍における旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上 ・飛騨高山観光誘致推進協議会負担金の見直し ⇒負担金事業の実施内容を精査
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	107万人		-
観光消費額(年間)	466億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		170,280	156,936	171,063			
特定財源	国費()						
	県費(観光回廊づくり推進事業費)						
	その他(入湯税等)	158,217	89,063	137,706			
一般財源		12,063	67,873	33,357			
個票枝番	主な事業内容						
	観光協会の運営に対する助成	16,000	14,961	16,000			
	観光客誘致推進に対する助成	112,000	103,524	100,000			
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063			
	コンベンション開催に対する助成	18,000	25,490	18,000			
	観光イベント開催に対する助成	18,217	6,898	31,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	170,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
165,563	165,563	164,563	△ 6,500	
3,000	3,000	3,000	3,000	
136,206	114,157	145,126	7,420	
26,357	48,406	16,437	△ 16,920	
査定額	説明			
14,500				
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
6,063	2市1村で負担			
14,000				
30,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:8件、参加者数:1,255人 コンベンション開催支援事業(教育旅行支援) 学校数:213校、利用者数:20,191人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、観光客入込数は激減したが、コロナ禍における対策を施したイベントや、コロナに左右されにくい客層(教育旅行等)をターゲットとした事業展開など、今後の誘客活動の一つの方向性を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連団体や観光関連事業への支援に必要な経費を計上 観光協会補助金の見直し ⇒補助対象経費の内容を精査
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・コンベンション開催に対する助成について一部所管替により、事業費を変更
--------------	-------------------------------------

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロミーツーリズム(温泉地内を歩き巡って、地元食材を食べて、温泉を楽しむツアー)やクアオルトウォーキング(自然・気候・地形を活用した健康療法)などによる誘客に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課・海外戦略課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。
----	----------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	107万人		-
観光消費額(年間)	466億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	275,433	261,169	21,146			
特定財源						
国費(市内宿泊施設利用促進事業費)	40,000	40,000				
県費						
その他(繰入金等)	27,383	5,650				
一般財源	208,050	215,519	21,146			
個票枝番	主な事業内容					
	各種協議会負担金	14,452	13,668	11,552		
	芸妓育成に対する助成	1,500	863	1,500		
	地域資源を活用した誘致	1,624	24	1,124		
	サイクルツーリズム推進に対する助成					
	新型コロナウイルス感染症に対する経済対策補助事業	251,007	241,938			
	乗鞍スカイライン復旧記念イベントに対する助成			1,000		
	新型コロナウイルス感染症経済対策事業に対する助成					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		23,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
90,962	19,029	21,029	△ 117	
90,962	19,029	21,029	△ 117	
査定額	説明			
11,005				
1,500				
624				
0				
0				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動態調査を実施した。 各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ONSEN・ガストロミーツーリズム、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響及び令和2年7月豪雨の影響により、それぞれ実施することができなかった。 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 温泉利用宿泊施設支援事業:24,244千円(交付件数 135件) 宿泊施設利用促進事業:44,082千円(利用者数 11,993人) 観光振興事業:15,865千円(交付件数 58件) 感染防止おもてなし支援事業:157,747千円(交付件数 985件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 継続しておもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 各種協議会と連携した事業を行うだけでなく、それぞれにおいて保有する有益な情報を共有することができた。 観光統計を踏まえ、コロナ禍における観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 観光動態調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、コロナ禍における戦略的観光施策を検討する。 市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携など観光客誘致に必要な経費を計上 観光統計や交通量調査など観光関連の情報の収集に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 日本温泉協会からの脱会
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 法定外税調査に必要な経費を計上

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		396,124	368,432	218,010		
特定財源	国費(観光施設整備事業費 1/2)					
	県費(新穂高温泉園地管理費等)	274	274	274		
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)等)	63,116	69,458	23,907		
一般財源		332,734	298,700	193,829		
個票枝番	主な事業内容					
	観光施設の管理運営	294,597	267,585	160,510		
	施設整備	101,527	100,847	57,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		200,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
286,500	194,380	194,380	△ 23,630	
274	274	274	0	
23,908	26,016	26,016	2,109	
262,318	168,090	168,090	△ 25,739	
査定額	説明			
156,680				
37,700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設20施設(うち指定管理施設18施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(荘川の里旧木下家屋根葺替など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理(野麦の里の廃止)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 休止施設の活用策について検討が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者が大幅に減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 休止施設の今後の活用策を検討する。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度予算)

29_観光課_7

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び周辺エリアの再整備
----	--	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	230万人		500万人
飛騨の里の入場者数(年間)	5万人		29万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	96,525	43,953	14,350			
特定財源						
国費(景観改善推進事業費 1/3)		3,300	1,600			
県費(観光施設整備事業費 1/4)	5,000	2,039				
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	35,000	38,452				
一般財源	56,525	162	12,750			
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備	96,525	43,953	14,350		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		43,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
55,400	35,000	37,000	22,650	
			△ 1,600	
6,500	6,500	6,500	6,500	
		21,000		
48,900	28,500	9,500	△ 3,250	
査定額	説明			
37,000	旧野首家住宅改修ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の駐車場便所整備など)を実施 ・令和2年度利用者数(平成31年度利用者数) 飛騨民俗村 52,081人(150,381人)
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等のバリアフリー化の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・照明器具等交換工事に必要な経費を計上
--------------	---------------------

29_観光課_7

62205

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62207 奥飛騨温泉郷活性化事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・奥飛騨温泉郷を活性化させる各種施策を展開し、多くの観光客で賑わう観光地づくりをすすめる。	概要	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく同地域の活性化に向けた各種事業の実施
----	---	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
奥飛騨温泉郷の宿泊者の観光消費額			

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源						
個票枝番	主な事業内容					
	奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく施設整備					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減(d)-(c)
8,100	8,000	8,000	8,000
8,100	8,000	8,000	8,000
査定額	説明		
8,000	新穂高第2駐車場整備設計等委託		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及び飛騨舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	96,619	92,680	61,210			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(観光施設使用料等)	139	303	139			
一般財源	96,480	92,377	61,071			
個票枝番	主な事業内容					
	スキー場の管理運営(指定管理)	67,290	63,351	35,900		
	施設整備	28,479	28,479	24,300		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		46,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
79,050	64,750	64,750	3,540	
139	139	139	0	
78,911	64,611	64,611	3,540	
査定額	説明			
35,900				
28,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 23,480人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 16,347人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が減少しているものの、暖冬であった前年度の利用者数を上回っている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の施設のあり方や地域住民等の意見を踏まえ、市営スキー場の検討を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・スキー場の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度予算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、潜在的な満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%		↗
高山市への再来訪の意向	97.9%		98%
観光客入込者数(年間)	230万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	22,123	20,673	20,930			
特定財源						
国費()						
県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、観光施設使用料等)	18,427	469	400			
一般財源	3,696	20,204	20,530			
個票枝番	主な事業内容					
	観光案内所の管理運営	18,793	17,866	17,600		
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	2,807	3,330		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,930	20,780	20,780	△ 150	
400	400	5,400	0	
20,530	20,380	15,380	△ 5,150	
査定額	説明			
17,460				
3,320				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーティションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 飛騨高山観光案内所 40,117人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 5,927人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が大幅に減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者へ再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに